

海業の事業計画骨子（案）【三重県明和町下御糸漁港】

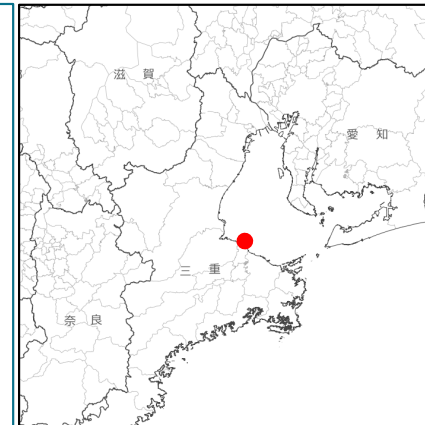
1. 現状と課題

【地域・水産業の現状と課題】

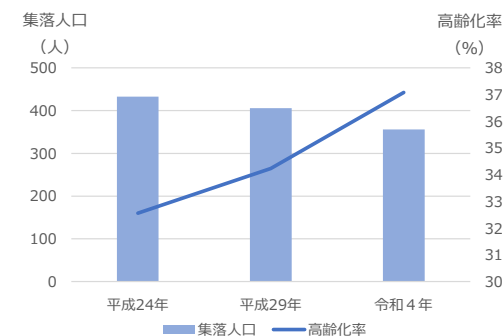
- 三重県明和町の漁港であり、伊勢湾西部に位置し、海岸は遠浅にして砂質地盤である。この地場を活かし、かつてはノリ養殖業が盛んであった。
- 漁業者の高齢化に加え、平成26年度以降あさり等貝類が採れなくなったこともあり、正組合員数は令和3年度末時点で3名と大幅に減少している状況である。
- ノリ養殖業についても、現時点でも水揚げは保っているものの、水揚げ量は過去10年間最低となっており、漁業の継続が困難な状況となっている。

【海業の現状と課題】

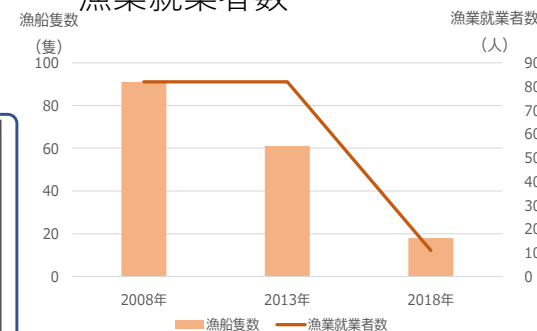
- 深刻な担い手減少に伴い水産関連産業等が衰退しており、地域産業の再興と雇用の創出が望まれている。
- 漁港内未利用地を活用した取り組みや漁港内を活用した養殖など、新たな水産業、新たな地域産業の創出（海業）による下御糸漁港の再整備と活性化が必要となっている。



■漁港背後集落の人口と高齢化率



■漁港背後集落の漁船隻数と漁業就業者数



2. 検討体制

漁業者
(下御糸、大淀両地区)

意見提示

めいわ海業推進協議会

海業の企画検討、事業化検討
事業実施にかかる漁業者・地域調整

【メンバー】

- ・(一社)明和観光商社（主催者）
- ・伊勢湾漁業協同組合（漁業者）
- ・三重県/明和町役場（行政）
- ・東京海洋大学（研究・教育機関）
- ・(株)On-Co/(株)ゲイト/(株)マインドシェア/(一社)未来の大人プロジェクト/(株)ゼットン等（民間企業）

海業の事業計画骨子（案）【三重県明和町下御糸漁港】

令和5年度調査当時の内容であり、決定事項ではありません。

3. 海業の方針

まずはイベント等ソフト事業を展開して賑わいを創出し、実績をつくりながら、段階的にハード事業を展開していく。

【取組】

- 漁港を活用したイベントを実施、賑わい創出・実績づくり
 - 給電・給水・インフラ整備による来訪者の滞在環境向上・多目的利活用推進
 - 宿泊・飲食機能（宿泊機能提供用地の確保、直売所等のサービス施設の設置等）
 - ヘリポート、水上飛行機等先進的かつモデル性の高い設備や機能の導入
- ※前提として、漁港施設のゾーニングにより漁業との共存、大淀漁港との役割分担

4. 海業の具体的な取組・実施主体（案）・期待される効果

①イベント・飲食・物販スペース整備（地域商社）

- ※運営は民間事業者
- ※飲食提供や直売を実施（民間事業者等）

【期待される効果】

- 域内水産物消費拡大
- 漁業所得の向上
- 来訪者の増加

②漁港の利用（漁協など）

- ・海洋環境や水産業を学ぶフィールド活用

【期待される効果】

- 漁業者所得の拡大
- 水産業への理解増進
- 地域の漁業担い手の確保

③多目的利用スペース整備（地域商社）

- ・自然体験施設、キャンプ施設等の検討
- ・給電・給水設備の導入
- ※ノリ施設への夜間照明の影響配慮必要
- ※大淀地区のキャンプ場とのすみ分け検討

【期待される効果】

- 地域での事業収入の確保
- 来訪者滞在時間延伸
- 地産農水産物の消費拡大

④ヘリポート整備

【期待される効果】

- 観光地としての魅力の増大
 - 富裕層の来訪
- ※位置は仮

⑤マリンアクティビティ体験拠点（漁協倉庫）

- ・ボート艇庫、ワーケーション拠点活用など

【期待される効果】

- 地域での事業収入の拡大
- 来訪者の増加

